

<講義コード> 5271401

<開講学部> 教育学部

2017年度

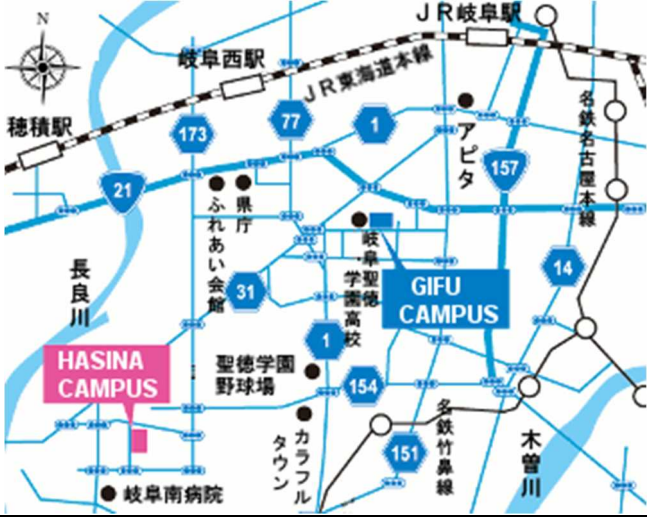
科目名	第二言語習得論	単位	講義区分	担当教員	大石 晴美
		2単位	講義		
期待される学修成果	教科教育 子ども理解			ナンバリング	ED2EEL404
到達目標及びテーマ	中学校高等学校学習指導要領に準じ、外国語学習理論、第二言語習得理論を概観する。海外での第二言語習得理論の基礎を理解し、認知的、脳科学的な側面から、日本人の英語理解のメカニズムを概し、そのメカニズムが、英語の授業における指導計画、授業の内容にどのような示唆を与えるかについて理解を深めることが目標である。				
授業の概略	第二言語習得を認知科学、脳科学の立場からみて中学校・高等学校の英語学習と教授法開発へ応用する。基礎を理解し、人間の脳がいかに、第二言語を聞き、話し、読むことを通じて情報を処理するかについて、脳科学、認知科学、心理言語学の立場から探求する。第二言語処理のメカニズムとして、相互作用モデル、ボトムアップ処理、トップダウン処理、スキーマ理論、ワーキングメモリ等の概念を理解し、学習過程で働く学習者の諸要因やストラテジー使用方法を概観する。また、第二言語習得研究が、中学校や高等学校の学習指導要領に準じた指導計画作成や実際の授業の実施にどのような示唆を与えるかを議論する。				
授業計画					
第1回	講義概要説明				
第2回	人間の言語情報処理				
第3回	第二言語はどのように習得されるか				
第4回	第二言語処理と注意のはたらき				
第5回	言語理解のメカニズム1 リーディング				
第6回	言語理解のメカニズム2 リスニング				
第7回	言語とワーキングメモリ				
第8回	言語と脳				
第9回	英語学習者の脳を観測する				
第10回	英語は脳のどこで学習されるか				
第11回	英語学習者の最適脳活性化状態				
第12回	効果的な指導法と認知的・脳科学的メカニズム				
第13回	指導計画作成と授業内容への応用				
第14回	英語教育における今後の課題				
第15回	まとめ				
事前学修	2時間	各チャプターを読む			
事後学修	2時間	文献検索をする			
成績評価方法	割合	評価基準等			
定期試験	0 %				
レポート	20 %	主張が明確で、論理性があるかどうかを評価する。			
上記以外の試験、平常点評価	80 %	第二言語習得論の基礎的な知識を小テストで評価する。			
教科書	『脳科学からの第二言語習得論－英語学習と教授法開発』 大石晴美著 昭和堂				
参考資料	『脳科学からの第二言語習得論－英語学習と教授法開発』 大石晴美著 昭和堂				

(この書式はシラバスとセットにします)

岐阜聖徳学園大学 第二言語習得論の受講を希望するコンソーシアム加盟校の学生に向けて

後学期授業期間	2017年 9月26日から、2018年 1月23日まで
時間割	毎週火曜日 1時限目 9時00分開始 10時30分終了
授業の回数	15回
初回の授業日	2017年 9月26日
備考	授業が始まったら、休講などの連絡は学内の掲示板を使います。

授業が受けられる教室

対面授業の教室（実際の教室）	
キャンパス	羽島キャンパス
教室	7号館 7204 講義室
住所	岐阜市柳津町高桑西1-1
地図	
交通アクセス	岐阜バス 岐阜駅から「岐阜聖徳学園大学」行乗車。終点下車。
備考	12/5(火)、12/26(火)、1/2(火)は授業がありません。

授業を開設する大学について

ホームページ	http://www.shotoku.ac.jp/
授業についての質問はこちらへ	羽島教務課 (058-279-3493)